

平成30年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 1番	氏名 早坂 豊弘	質問形式: 一問一答
1. 件名 本村の教育現場(いじめ・不登校)をどう考えるか		
1. 最近のいじめは陰湿化していると言われている。教育委員会はどう捉えているのか		
2. いじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題調査委員会を立ち上げ、協議会は2回、委員会は1回開催されている。会議ではどのような話し合いがなされたのか		
3. 不登校(欠席日数が30日以上)や不登校傾向(欠席日数30日未満、別室登校等で対応)の現状は。その原因をどう分析し、どのような対策を立てているのか		
4. スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの支援は効果として表れているのか また、それをどう把握しているのか		

通告順位 2番	氏名 高橋 浩之	質問形式: 一問一答
1. 件名 水道・下水道施設の今後の対策について		
村の水道施設は、整備から40年を経過しているものが数多くある。また、下水道施設においても、整備から30年近い時間が経過している。さらには東日本大震災等の多大なダメージにより、近年漏水等による破損修理が増えている。村長の施政方針でも「水道ビジョン」を策定中と言っているが、具体的に何年度までに方針を決定し、その事業を推進していくのか。		
県でも、水道事業の広域化や民間委託等の可否などを調査検討しているようだが、村として、いかに関わっていくのか、基本姿勢を問う。		
水道事業に加えて、下水道事業も老朽化や震災の影響による修繕費の増額が懸念されるが将来における総合的な対策は検討されているのか。		
2. 件名 行政機構改革の評価と課題について問う		
平成28年度より大衡村役場の機構を改革し、8課1局の体制こそ変えなかったものの、その事務分掌に大きな変更がなされた。機構改革から3年が経過し、住民や職員からの評価・批判など多くの意見が集約され、新しい課題点なども見えてきたと思う。		
そこで、改めて村長に、行政機構改革を行った結果に対して総括し、今後の行政運営の考え方を問う。		

平成30年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位	3番	氏名	小川 ひろみ	質問形式:	一問一答
<p>1. 件名 健康増進・介護ボランティア活動奨励にポイント制度を</p>					
<p>本村では「メタボリックシンドロームの人が多い」「歩く人が少ない」など健康に関する課題が山積している。健康の三大要素は「栄養バランスが取れた食事」「十分な休養(睡眠)」「適度な運動」と言われている。これからは一人ひとりが意識しての取り組みが最重要と考える。</p>					
<p>各種検診の積極的な受診や健康イベント事業への参加を促すためにも、健康問題に楽しく向き合ってもらえる取り組みが重要である。また、介護ボランティア活動への参加も、地域貢献と自身の介護予防、健康増進が期待できる。こちらの勧奨にも取り組むべきである。</p>					
<p>検診やイベント、ボランティア活動への参加を奨励するために、参加者に対し、各種検診の自己負担軽減やごみ袋購入等に使用できるポイントを付与する取り組みを考えてはどうか。</p>					
<p>1. 現在の健康増進の取り組みにより、改善された点、今後の課題は</p>					
<p>2. 各種検診や様々な講座、イベント等の参加者に対し、ポイントを付与しては</p>					
<p>3. 介護ボランティア活動の参加者に対し、ポイントを付与しては</p>					
<p>4. 日々の散歩や運動等をデータ化して管理するシステムを構築しては</p>					
<p>2. 件名 これからの大衡村の教育方針は</p>					
<p>教育行政は、現在様々な課題に直面しているように感じる。これからは学習への動機づけや命の大切さを実感するような様々な体験を重視していくことが必要と考えるが、三期目を迎えた教育長に、今後の方針を聞く。</p>					
<p>1. 国では一貫教育を推進しているが、今後の大衡における幼・小・中連携の取り組みは</p>					
<p>2. 講師や支援員の採用はどうなるのか。また、英語教育のためALTの人員増は</p>					
<p>3. プログラミング教育の導入についてどう考えているのか</p>					
<p>4. 公開研究会を終えての教育長の所見・課題・今後の取り組みは</p>					
<p>3. 件名 公用車にドライブレコーダーを設置しては</p>					
<p>ドライブレコーダーは車両運転中の映像や音声を自動的に記録する装置である。パトロールや業務で走る公用車にドライブレコーダーを設置することで、事故や犯罪などの画像情報を記録する「動く防犯カメラ」として、地域の安全に役立てられるのではないかと。</p>					
<p>また、住民のドライブレコーダー設置に対し、補助金制度を設けてはどうか。</p>					

平成30年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 4番	氏名 佐々木 春樹	質問形式: 一括質問
1. 件名 萩原村政一期目の総括と次期村長選挙への出馬について		
萩原村長は平成7年4月から議会議員を5期、そのうち議長を2期務め、平成27年4月から村長に就任、村政の舵取り役として村の発展と住民の福祉向上に尽力されてきたことは皆が承知のところである。		
村長自身が、萩原村政一期目をどのように考え、行動してきたのかを質問する		
1. 萩原村政一期目の総括について		
2. 今任期中にやり残したこと、出来なかったことがあったのかどうか		
3. 今後の大衡村について、どのように考えているのか		
4. 来年4月の村長選挙への出馬意思について		

通告順位 5番	氏名 文屋 裕男	質問形式: 一括質問
1. 件名 元女性職員の公務災害認定について		
元女性職員の公務災害は、前村長からの大量のメールが原因であると、総務課長の説明が全員協議会の中で示された。この公務災害の認定は裁判中に行われたものであり、一方的な主張が原因と思われる。		
裁判の判決文を見ると、元女性職員の主張はほとんど認められなかったようだ。この判決から考えると、地方公務員災害補償基金宮城県支部に対し、公務災害認定の取り消しを求める意思はないか。		
また、前村長の辞任や、元女性職員が提訴した裁判に対して、当時の議長であった萩原村長には説明責任があるのではないか。また、その判決に対して、村長はどう思ったか。		
さらに元女性職員には定年退職までに休職中も100%の給料が支払われているが、その総額はいくらなのか、住民に示すべきではないか。		

平成30年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 6番	氏名 石川 敏	質問形式: 一問一答
1. 件名	保健・福祉施策の業務委託について問う	
<p>村の保健福祉施策は、大衡村高齢者福祉計画及び介護保険事業計画に基づき、各種の施策事業を推進しているが、近年は多くの業務を村から大衡村社会福祉協議会に委託して実施している状況である。さらには各種団体の事務局も村から社会福祉協議会へ移行され、社会福祉協議会の人員や業務量は大きく増えている現状である。</p> <p>大衡村における保健福祉施策の推進体制として、村と社会福祉協議会の関係や業務委託のあり方をどのように考えているのか問う。</p>		
1. 村から社会福祉協議会に委託しているH29・H30の業務の詳細は		
(業務名、委託金額、業務内容・実績、運営費補助積算根拠)		
2. 施策推進の責任者である村と受託者である社会福祉協議会の位置づけと役割は		
3. 受託側の社協会長が委託側の副村長であるが、委託業務執行において問題はないか		
4. 保健福祉・介護施策の推進における業務委託についての基本方針は		

通告順位 7番	氏名 山路 澄雄	質問形式: 一問一答
1. 件名	萩原村政の一期目を総括する	
1. 小・中・高校生の通学支援・高齢者の生活支援のための交通体系を速やかに整備すべきである。なぜ現状を改善することなく放置しているのか		
2. 指定管理者としての「万葉まちづくりセンター」のあり方を問う		
<ul style="list-style-type: none"> ・事業委託に関して、なぜ他事業者を排除するのか ・不透明な人事に対し、村の考えを聞く 		
3. 公用車(村長使用)の運行状況の詳細を聞く		
<ul style="list-style-type: none"> ・村長個人の送迎について ・村内外の各種行事等への送迎について ・運行日誌の不備を確認しているのか 		
4. 旧幼稚園舎の今後の利活用について、住民の意見を聞くことなく事業を進めるのはなぜか		
5. 児童館の現状認識と、今後の児童数増加にどう対応するのか		

平成30年第4回大衡村議会定例会一般質問通告書一覧表

通告順位 8番	氏名 小川 宗寿	質問形式: 一問一答
1. 件名 村の広報媒体の効果を検証すべきでは		
1. 村ホームページがどういった効果をあげているのか、どのように検証しているのか		
2. ホームページ閲覧者からの「問い合わせ・苦情」への対応は充実しているのか		
3. 他市町村では広報担当者を設置して、日々のマスコミ対応や行政サービス等の発信が行われている。現在、村の広報活動はどの部局が担当しているのか		
4. 現在は高齢者だけでなく、若い世代でもパソコン離れが進んでいる。これまでのホームページによる情報発信のほかに、より多くの人に日常的に村の情報に触れてもらうよう、携帯用のアプリケーションなどを整備する考えはないか		
2. 件名 旧幼稚園舎の今後について問う		
1. 旧園舎利活用計画はどこまで具体化しているのか。具体化しているのであれば、どの時点で住民や議会に対して公表するのか		
2. 計画を実行した場合の費用や住民の利用率などを試算しているのか		
3. 利活用計画を所管する部署は、教育委員会にはじまり、庁内検討委員会や検討委員会(公募に応じた住民)を経て、現在は副村長をトップとするプロジェクトチームがその任に当たっている。旧園舎そのものも、教育財産(教育委員会所管)から普通財産(企画財政課所管)に変更されている。管理部局がこれほど変転して、計画は上手くまとまっているのか		